

ゲームによる社会的影響等についての一考察

学籍番号:18191206

氏名:井上大夢

要旨本文

研究目的は、世の中に溢れているゲームやアプリなどをプレイすることによって引き起こされる、さまざま影響について研究するものである。

調査方法はアンケート調査。男女問わず、若い世代から大人にかけて、紙による調査を行った。

調査結果は、アプリなどに課金する人や長時間プレイする人は予想より多かったが、悪影響を与えると考える人は多かった。しかし、予想していたよりは少し少ない結果になった。

アプリに多く課金して失敗した人や、ゲームを長時間プレイして失敗した人は、悪影響を与えている人が多い。ゲームをプレイすることは、悪影響を与える場合もあるが、ゲームをプレイする人の方にも要因があるのではないか。

フォントサイズ：タイトルのみ 18pt、その他 10.5～11pt

和文フォント：MS 明朝

欧文フォント：Times New Roman